



ときの新しいはく物館を考え、活用するための

第1号

ときはく

ワーク
ショップ
ニュース

現在土岐市では、土岐の新しい博物館において、市民主体で活動する仲間づくりを進めていくため「新博物館市民ワークショップ」を行っています。今年度の最終回となる今回は、「新博物館応援トーク！」と題して、「目指すべき博物館の在り方」や「次年度のすすめ方」について市や学芸員の方から説明をいただき、後半のグループワークでは、「新博物館を市民に広く知ってもらうために出来ること」をテーマに、市民の関わり方や新博物館の推し、PRポイントについて、具体的なアイデアを出していきました。最後にトキハクのロゴマークを使ってオリジナルトートバックを作りワークショップを閉会しました。今回のワークショップ当日の様子を「ときはくワークショップニュース」としてまとめましたので是非ご覧ください。

◆当日のワークショップの様子

新博物館応援トーク！



◆ワークショップの主旨、当日のプログラム、全体スケジュール

◆主旨

◆日時：2025年3月29日(土) 13:00~15:30

◆場所：土岐市庁舎 1階多目的スペース ◆参加者：12名

今回は、「新博物館応援トーク」と題して、「新博物館を市民に広く知ってもらうために出来ること」をテーマに、市民の関わり方や新博物館の推し、PRポイントについて、具体的なアイデアを出していきました。

◆当日(3/29)のプログラム

- 13:00 あいさつ
- 13:05 実施設計の見直しについて
- 13:10 本日のスケジュール
- 13:15 前回のワークショップのふりかえり
- 14:20 新博物館応援トーク
- 14:30 休憩
- 14:40 WS参加記念！トートバックづくり体験
- 15:15 集合写真の撮影
- 15:25 おわりのあいさつ



◆令和6年度スケジュール

第1回 【R5/12/10】

「つながり・にぎわいエリア」の活用方法を考えよう！

第2回 【R6/2/12】

現地及び周辺を体感しよう！まちとつながってどう使う？

第3回 【R6/4/14】

新博物館のゾーニング確認+今後の市民活動、仲間づくりについて！

第4回 【R6/7/7】

新博物館で出来る具体的な市民活動プロジェクトについて考えよう！

第5回 【R6/9/29】

仲間の輪を広げるPRを考えよう！

第6回 【R6/12/15】

新博物館のミュージアムグッズを考えよう！

第7回 【R7/3/29】

新博物館応援トーク！

済

済

済

済

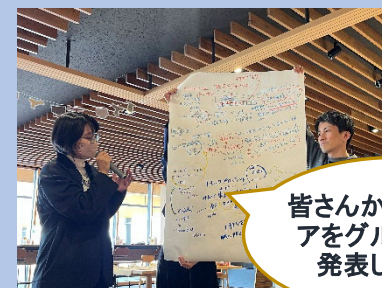
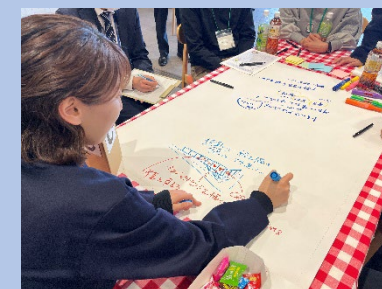
済

済

済



テーマに沿って
グループで
話合っていきます



オリジナルの
トートバックづくりを
体験しました



世界一だけの
オリジナル
トートバックです



完成したトートバック
を持って、みなさん
笑顔で記念撮影

ひとこと アンケート

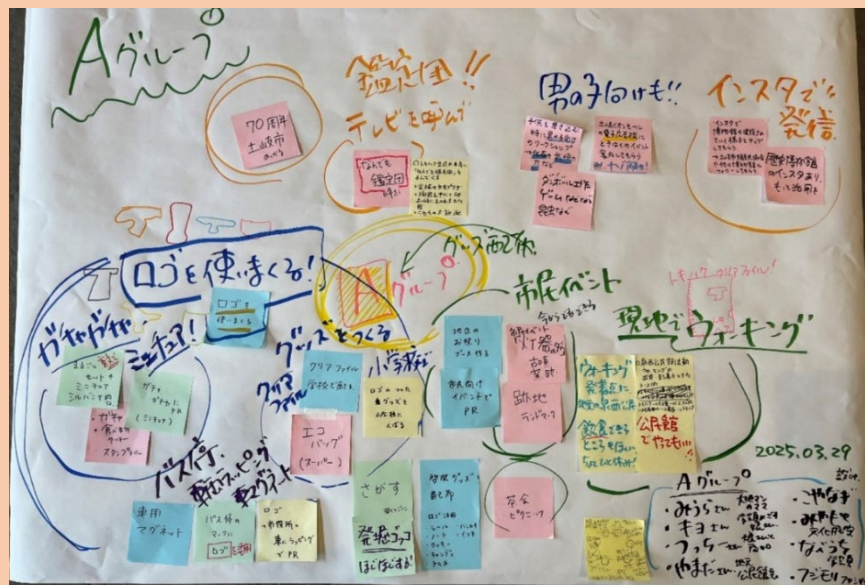
●WSについて) たくさんの方とつながりが持てて、大変楽しかったです/広く色々な立場と考えると、見えることが分かりました。/ワークショップを通じて、博物館に興味を持つことができました。みんなで話すことは楽しかったですし、“自分の博物館”という気持ちになりました/夢を語るのはいいなと思います。色々な方の意見が参考になりました。次世代につながる地域の方がいつも気軽に活用できる交流の場となるといいと思います/コストではなく、文化への投資かと思います/毎回難しいお題でしたが、みんなの意見を聞くのが楽しかったです。

●トキハクについて) 延期を楽しくとらえて、私も小さなパワーですがパワーいっぱいPRがんばっていきたいと思います/未来の子どもたちのために五感で学ぶ場所、それが博物館だと思っています。一歩ずつ大切につなげていただけたらと思います/土岐市の心の源、誇れる場所が博物館です。今後ともみんなで盛り立てて行きたいと思っています/シビックプライドの拠点として未来に恥じないレベルの建築を期待しています/去年の夏頃に土岐の市議会をテレビで見た時、博物館の予算について議題になっているのを知りました。確かに、興味関心がないと高い税金がかかると思われる人々がいると思いますが、図書館と博物館は似た存在意義があると思っています。地域が豊かになるには必要だと感じていますので、地道に応援活動に参加したいと思います/山田五郎さんのシンポジウムの映像にあったように、何でもあり!美濃桃山陶って何だ!?まさに魅力が多すぎてわかっていない!その一言です。愛が強すぎて、伝わらないかも!?楽しかったです●トートバックづくりについて) トートバックづくりがとても楽しかったです。ロゴの可愛さに愛着がわきます。みんなに自慢して宣伝しますね/センスを問われるので自分で作るより作ってもらう方が個人的には良いなと思います。

◆第7回土岐市博物館ワークショップの成果まとめ ～A, B, C 3つのグループに分かれて、「新博物館を市民に広く知ってもらうために出来ること」のアイデア出しを行いました！～

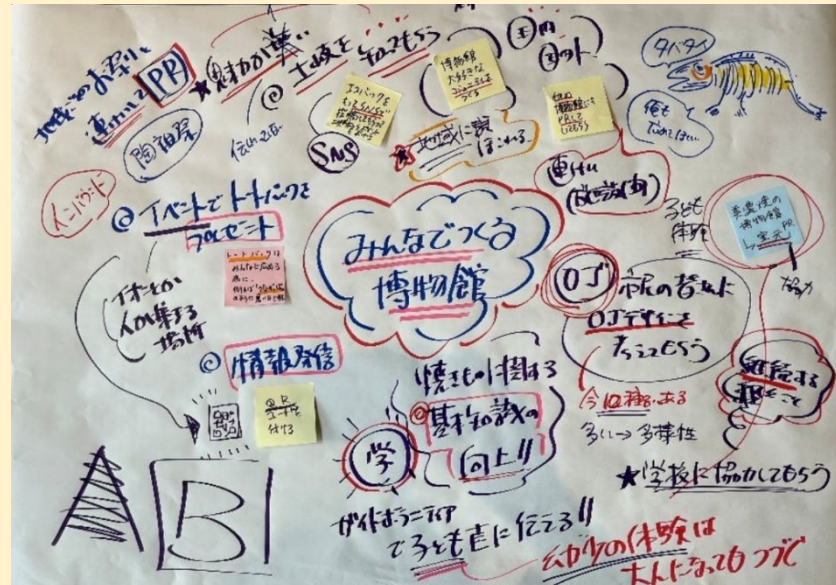
【Aグループ】

- 市制 70 周年の記念イベントでの PR
 - ・市制 70 周年を迎えるイベントに乗っかり PR する
- テレビ番組での PR
 - ・トキハク完成の年に「なんでも鑑定団」を呼んでくる
 - ・会場は文化プラザ、陶器を中心に土岐にまつわる文化財
 - ・二セモノも大歓迎
- 子どもを巻き込む
 - ・子どもを巻き込む→特に男の子向けのワークショップ→化石や武将の刀など
 - ・段ボール工作、ゲーム、昆虫などなど
 - ・土岐イオンモールの電子公告版にトキハクのイベント案内をしてもらう
- インスタで発信
 - ・インスタで博物館の建設されていく様子をアップしてもらう→土岐市観光協会や他の博物館にフォローしてもらう
 - ・歴史博物館のインスタもあり、もっと活用していく
- ロゴを使いまくる
 - ・ガチャガチャ、ミニチュア→ママごとセットやミニチュア、シルバニア的な、食べ物（クッキー）、スタンプラリー
 - ・グッズを作る
 - ・クリアファイルを学校で配る、ロゴのついたグッズを小学校に配る、エコバック（スーパー）
 - ・バス停、車両ラッピング、車マグネット
 - ・車用マグネット、バス停のマークにロゴを活用、市役所の車にラッピングで PR
- 市民イベントでの PR
 - ・地区のお祭りブースをつくる。市民向けイベントで PR
 - ・今からでもできる市民イベント「灯籠のタペ」→古墳、窯跡
 - ・跡地、ランドマーク
- 現地でウォーキング
 - ・ウォーキング発着地点に地元の泉西公民館
 - ・コース例：トキハク→古墳→1,2,3 力所→久尻用水→茶屋→トキハク
 - ・飲食できるところもほしい、ちょっと一休みしたい
- その他
 - ・茶会、ピクニック
 - ・啓発グッズ配布、シール、ノート、ハンカチ、靴下、クッキー、キャンディ、ラムネ
 - ・発掘ごっこ→ほじほじする



【Bグループ】

- 地域ごとのお祭りと連携して PR する！
 - ・陶祖祭での PR、インバウンド効果も得られる
- イベントでトートバックをプレゼント
 - ・イオンとか人が集まる場所で開催する。
 - ・トートバックはみんなに広めるために→例えば「うながっぱ」のように暑い日に配布
- SNSで情報発信
 - ・魅力が伝わっていない土岐をもっと知ってもらうための工夫
 - ・エコバックをもって SNS で投稿してもらい土岐市からポイントをあげる
- 情報発信
 - ・QR コードを付ける
- 学ぶ
 - ・焼き物に関する基本知識の向上
 - ・ガイドボランティアで子どもに伝える
 - 幼少の体験は大人になっても続く
- 学校に協力してもらう
 - ・美濃焼博物館の窯元に協力してもらって PR
 - ・継続すること
 - ・子ども体験
- ロゴ
 - ・市民の皆さんにロゴデザインを考えてもらう
 - ・今何種類かある
 - ・多い→多様性
- 国内外
 - ・連携施設間
 - ・他の博物館にも PR してもらう
- 地域に誇れる博物館
 - ・博物館の好きなコミュニティをつくる



【Cグループ】

- トキハクプロジェクトメンバー集まってみよう！
 - ・東京、大阪など海外へ
 - ・博物館を広めるために制限がない
 - ・今すぐに広報部隊
 - ・すでにあるまちづくりの団体もできるかも…
 - ・SNS→馬籠、妻籠ルートにつながってほしい。下街道。昔のルートでつながるコラボ？
- 気になる仕掛けづくりが必要
 - ・博物館とまちがつながる活動
 - ・駅の地下道にクイズ→現地に行く
 - ・知ってもらう
 - ・参加してもらう
 - ・作ってもらう
- 年間スケジュールを組み立て→PR 部隊
 - ・文化庁も推し
 - ・茶会、和食を通じた学び
 - ・暮らし、生活
 - ・発掘、体験
- 現地で進捗がみられるように
 - ・イベント発信→武将隊
 - ・意見を募る目安箱
- PR セットが必要→目安箱
 - ・おかみ塾、セラミックパーク、イオン、移動図書館
- トキハク移動 WS
 - ・子どもたちに広めるとよいかも
- 仮囲いに絵を書いてアピール
 - ・写真を貼る
 - ・プロジェクトロゴを描く。ロゴを使う
 - ・QR コード→すぐ読み取れる
 - ・幟（のぼり）を作る

